

宇陀市のふるさと納税

植平工業株式会社 植平 秀次さんに聞く

返礼品にキャンピングトレーラーを提供

2年ほど前に立ち上げたキャンピング用品ブランド「ピッツパーク・アウトドア・スチールワークス」が好調に売り上げを伸ばす植平工業株式会社(宇陀市大宇陀・植平秀次代表取締役)は、同市のふるさと納税で最も高額の寄付額2000万円の返礼品としてキャンピングトレーラーを提供している。そのメニューに対して昨年12月に初めての寄付があった。植平社長に市への思いや、流行するキャンピング市場など、今後の展開を聞いた。

「主に金属の加工製品を取り扱っているとお聞きしましたが、キャンピングトレーラーを販売されたきっかけは。」

「コロナ禍でキャンピングブームが起り、こんなものを作れないかと問い合わせが。」

「多く寄せられ、2年ほど前にキャンピング用品のブランドを立ち上げました。その派生で、キャンピングトレーラーにたどり着いたみたい。」

「製造にあたってのコンセプトは。」

「キャンピングトレーラーは色々なところから発売され通常2、300万円ほどになります。しかし安いもの競争したらキリがないので、うちは高品質でデザイン性も良いというものを目指しました。そのため値段も2台分といった高い価格になっています。」

「そういった部分を評価していただき、昨年に販売を開始してから約30台の注文が入っています。また三菱自動車さんから、オフロード車のカタログ掲載用に、キャンピングトレーラーを引っ張っているところを撮りたいという依頼が来て、使用していただいています。」

「市へのふるさと納税の返礼品として、新たに掛け橋を追加されたとお聞きしました。」

「今後の商品展開は。」

「キャンピング用品では、かがり火をたいした時に使うものや、キャンピングメーカーでは珍しい9mmの分厚い鉄板などを販売しています。その他に、関西ではない」

「うちの会社は新製品の開発の委員会というのがあっ」



キャンピングトレーラーは要望に合わせてオプションの追加やカスタマイズが可能

「内外問わず、「夢をカタチに変えていこう」という取り組みをしています。未だ見ぬ商品がこれからまだまだ出てくると思います。」

「植平さんから見た宇陀市は。」

「どこもそうですが、宇陀市も企業誘致や税収増に取り組んでいます。しかし宇陀市は市街化調整区域ばかりで、工場や倉庫を建てられるところが少ないんです。我々企業が工場を広げたくても、建てる場所がない。」

「また、業績が良くなったから下請け業者を呼」

「びたくても呼ぶ場所がない。そういった話を聞きます。県や市の施策で市街化調整区域撤廃という話もありますが、明日、来年建てたいといった場合にすぐ対応できない状況になっていきます。」

「それだったら宇陀市に残っている宝物をふるさと納税として提供し、地域の方々に貢献していただくというのがとてもいい安定するのではないかなと思います。そういった企画を民間でやってみるのいいんじゃないのかな。」

「地域の方が知っている宇陀市の魅力を、ふるさと納税を通して発信して、宇陀市に来てもらう。そういった企画を民間でやれば、面白いことができる気がします。」

「ふるさと納税通して、市の魅力発信を」

「ふるさと納税で宇陀市の魅力発信を」



浮き橋橋を利用したキャンピング施設の販売を今年中に予定している

「ふるさと納税で宇陀市の魅力発信を」と語る植平社長